

平成22年2月9日公表

平成21年産春植えばれいしょの作付面積、 収穫量及び出荷量

- 春植えばれいしょ（北海道）の収穫量は前年産に比べて12%減少 -

【調査結果の概要】

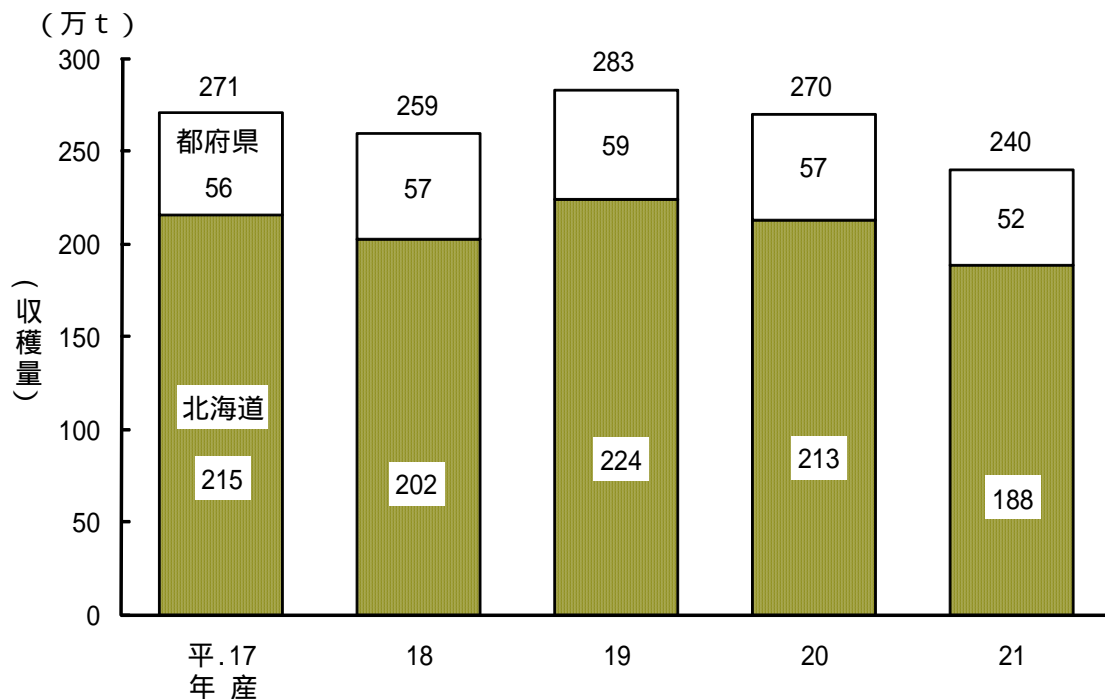
1 春植えばれいしょ（北海道）の収穫量

収穫量は187万9,000 tで、7月中旬以降の低温、日照不足の影響により、前年産に比べて25万2,000 t（12%）減少した。

2 春植えばれいしょ（全国）の収穫量

平成21年12月10日に公表した春植えばれいしょ（都府県）の結果を加えた全国の収穫量は239万8,000 tで、前年産に比べて29万9,000 t（11%）減少した。

図1 春植えばれいしょの収穫量の推移



収穫量とは、収穫したもののうち、生食用、加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。

この統計調査結果で使用している統計表は、政府統計の総合窓口（e-stat）の「統計データ新着情報」でご覧になれます。
【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

【関連するデータ、情報】

調査結果の利活用

- ・ 野菜を安定的に供給するための国及び都道府県における生産努力目標の策定を行う際の資料
- ・ 野菜生産出荷安定法に基づき実施されている、特定野菜等供給産地育成価格差補給事業の生産出荷計画を作成する際の資料
- ・ 水田・畑作経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）の推進のための資料
- ・ 農業災害補償制度における共済基準収量算定のための資料 等

関連データ

1 春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量の推移

(1)全国

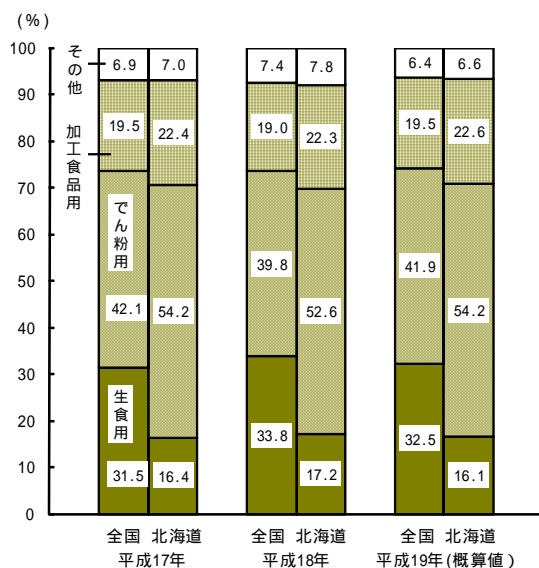
区分	作付面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t
平成17年産	84 000	3 230	2 712 000	2 215 000
18	83 600	3 100	2 590 000	2 104 000
19	84 500	3 350	2 828 000	2 340 000
20	82 000	3 290	2 697 000	2 218 000
21(概数)	80 100	2 990	2 398 000	1 951 000

(2)北海道

区分	作付面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t
平成17年産	55 700	3 860	2 150 000	1 918 000
18	55 700	3 630	2 022 000	1 794 000
19	56 900	3 940	2 242 000	2 008 000
20	55 200	3 860	2 131 000	1 899 000
21(概数)	54 300	3 460	1 879 000	1 657 000

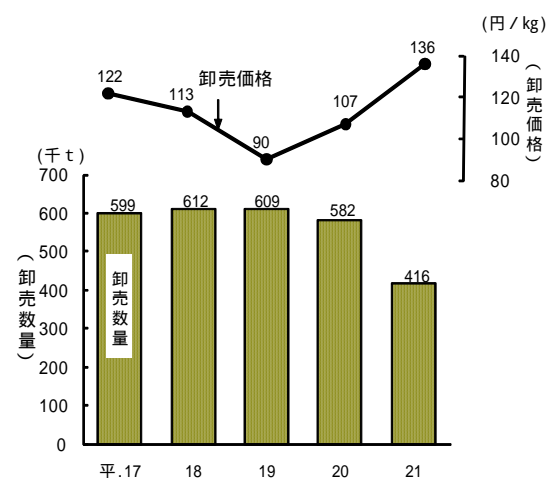
資料：農林水産省統計部『野菜生産出荷統計』

2 ばれいしょの用途別消費割合



資料：農林水産省生産局『いも・でん粉に関する資料』

3 ばれいしょの卸売数量及び卸売価格の推移



資料：農林水産省統計部『青果物流通統計月報』(1・2類都市の市場計)

注：ばれいしょの卸売数量・価格については、当該年の4月から翌年の3月の結果であり、平成21年については、平成21年4月～12月の結果である。

【調査結果】

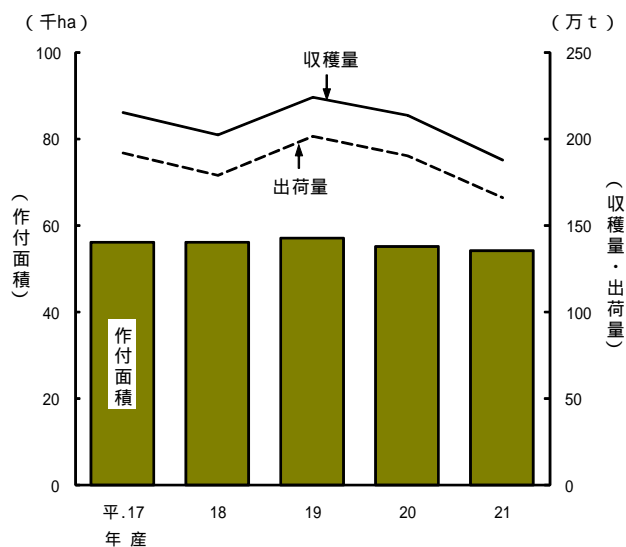
1 春植えばれいしょ（北海道）

収穫量は187万9,000 t、出荷量は165万7,000 tで、前年産に比べて、それぞれ25万2,000 t（12%）、24万2,000 t（13%）減少した。

(1) 作付面積は5万4,300haで、他野菜等への転換などがあったことから、前年産に比べて900ha（2%）減少した。

(2) 10a当たり収量は3,460kgで、7月中旬以降の低温、日照不足の影響により、いもの肥大が抑制され小玉傾向となったこと等から、前年産に比べて10%下回った。

図2 春植えばれいしょ（北海道）の作付面積、収穫量及び出荷量の推移



2 春植えばれいしょ（全国）

先に公表した都府県の春植えばれいしょの結果を加えた全国の収穫量は239万8,000 t、出荷量は195万1,000 tで、前年産に比べてそれぞれ29万9,000 t（11%）、26万7,000 t（12%）減少した。

(1) 作付面積は8万100haで、前年産に比べて1,900ha（2%）減少した。

(2) 10a当たり収量は2,990kgで、前年産に比べて9%下回った。

表 平成21年産春植えばれいしょの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	作付面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	前年産対比（%）				（参考）10a当たり平均収量対比
					作付面積	10a当たり収量	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t					%
春植えばれいしょ	80 100	2 990	2 398 000	1 951 000	98	91	89	88	90
うち北海道	54 300	3 460	1 879 000	1 657 000	98	90	88	87	88

注：（参考）平均収量対比とは、10a当たり平均収量（原則として過去7か年のうち最高、最低を除いた5か年の平均値）と当年産の10a当たり収量との対比である。

【 統 計 表 】

春植えばれいしょ

全 国 都 道 府 県	作付面積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	前 年 産 対 比 (%)					(参考) 10a当たり 平均収量 対 比
					作 面	付 積	10a当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	
	ha	kg	t	t						%
全 国	80 100	2 990	2 398 000	1 951 000	98	91	89	88	90	90
北 海 道	54 300	3 460	1 879 000	1 657 000	98	90	88	87	88	88
都 府 県	25 900	2 000	519 000	294 000	96	95	92	92	96	96
青 森	1 110	2 120	23 500	17 200	94	85	80	81	89	89
岩 手	470	2 070	9 730	992	98	97	94	99	103	103
宮 城	643	1 910	12 300	1 100	98	96	95	101	94	94
秋 田	739	1 600	11 800	1 920	97	91	88	92	95	95
山 形	284	2 190	6 220	882	100	105	106	112	105	105
福 島	1 440	1 920	27 600	4 440	96	94	90	94	97	97
茨 城	1 470	2 770	40 700	33 400	100	101	101	110	100	100
栃 木	589	1 780	10 500	3 010	99	93	91	91	92	92
群 馬	448	2 090	9 360	2 240	95	97	92	98	99	99
埼 玉	772	1 770	13 700	3 160	100	90	90	90	89	89
千 葉	1 430	2 330	33 300	27 600	97	102	99	102	103	103
東 京	290	1 990	5 770	3 170	97	99	96	96	97	97
神 奈 川	442	2 330	10 300	5 580	98	101	100	107	97	97
新 潟	832	1 830	15 200	3 050	95	94	89	111	92	92
富 山	126	1 800	2 270	198	93	95	88	86	92	92
石 川	299	1 380	4 130	521	97	100	97	101	99	99
福 井	358	1 230	4 400	459	98	98	97	94	92	92
山 梨	323	1 460	4 720	500	99	98	98	90	87	87
長 野	1 210	2 080	25 200	2 400	99	95	94	88	95	95
岐 阜	280	1 500	4 200	830	101	83	84	104	76	76
静 岡	668	2 490	16 600	13 400	95	102	97	97	105	105
愛 知	326	1 340	4 370	2 430	89	91	81	80	91	91
三 重	194	1 300	2 520	1 520	96	86	82	87	76	76
滋 賀	168	1 030	1 730	275	100	95	96	115	94	94
京 都	226	1 170	2 640	1 150	98	100	98	97	101	101
大 阪	87	1 250	1 090	316	101	98	99	105	97	97
兵 庫	377	1 170	4 410	888	98	96	94	94	95	95
奈 良	179	1 200	2 150	765	98	95	94	93	96	96
和 歌 山	77	1 030	793	256	95	90	86	83	82	82
鳥 取	190	1 390	2 640	448	101	97	98	102	103	103
島 根	176	1 450	2 550	466	98	97	95	95	95	95
岡 山	261	1 390	3 630	432	99	92	91	99	91	91
広 島	397	1 190	4 720	877	99	80	79	69	85	85
山 口	178	1 490	2 650	834	93	97	90	87	97	97
徳 島	139	1 740	2 420	1 230	91	96	87	106	109	109
香 川	85	1 190	1 010	223	94	95	89	83	93	93
愛 媛	240	1 360	3 260	665	91	94	85	85	91	91
高 知	113	1 330	1 500	924	99	95	94	94	96	96
福 岡	335	1 540	5 160	1 090	98	99	97	100	105	105
佐 賀	143	2 050	2 930	1 970	102	100	102	108	116	116
長 崎	2 990	2 590	77 400	67 100	96	91	88	88	91	91
熊 本	550	2 170	11 900	7 900	97	100	97	96	108	108
大 分	142	1 440	2 050	744	102	89	92	96	93	93
宮 崎	499	2 310	11 500	10 000	97	88	85	82	96	96
鹿 児 島	3 570	2 030	72 500	65 400	92	99	91	87	99	99
沖 縄

注：都府県の数値については、平成21年12月10日に公表したものである。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査のうちの野菜調査として実施したものであり、春植えばれいしょの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量の現状とその動向を調査して、生産対策、需給調整・流通改善対策、価格対策、経営安定対策、共済事業の適正な運営などに関する資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

該当品目ごとに平成19年産（3年周期の全国調査年）の全国出荷量のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県、野菜指定産地の面積要件を満たす区域を含む都道府県、畑作物共済事業を実施する都道府県及び特定野菜等供給産地育成価格差補給事業を実施する都道府県を調査対象（主産県）としている。

なお、全国値については、主産県調査の結果から全国調査（平成19年産）の結果を基に推計したものである。

(2) 調査対象の選定

調査の対象は、調査対象県において、調査対象野菜（39品目）の集出荷を行っている農協等の関係団体（関係団体調査）及び標本経営体（標本経営体調査）としており、その選定については、以下のとおりとした。

ア 関係団体調査

調査対象となるすべての関係団体とした。（しっ皆調査）

イ 標本経営体調査

2005年農林業センサスにおいて、調査対象野菜を販売目的で作付けした農林業経営体を無作為に抽出（母集団名簿を作付面積順に並べ替えを行い、標本数に応じて等間隔に抽出する方法により抽出）した。（標本調査）

(3) 調査対象数

	関係団体調査			標本経営体調査						巡回・見積り市町村数
	団体数	回収数	回収率	母集団経営体数	標本数	抽出率	回収数	回収率	集計対象数	
			= /			= /		= /		
春植えばれいしょ	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%	経営体	市町村
	902	662	73.4	114 810	6 905	6.0	4 840	70.1	3 398	1 675
うち北海道	172	157	91.3	12 330	64	0.5	41	64.1	34	180

3 調査事項

(1) 関係団体調査

作付面積及び出荷量

(2) 標本経営体調査

作付面積、収穫量及び出荷量

4 調査期日等

(1) 調査期日

収穫・出荷終了時

(2) 季節区分

この調査における品目の主たる収穫・出荷期間は次のとおりである。

品 目	季節区分（主な収穫・出荷期間）
春植えばれいしょ（都府県）	平成 21 年 4 月 ~ 21 年 8 月
春植えばれいしょ（北海道）	平成 21 年 9 月 ~ 21 年 10 月

5 調査方法

作付面積の把握は、関係団体に対する往復郵送調査並びに職員による巡回・見積りの方法、収穫量及び出荷量の把握は、関係団体及び標本経営体に対する往復郵送調査並びに職員による巡回・情報収集の方法による。

6 集計方法

作付面積は、関係団体調査結果及び巡回・見積りにより得られた結果を集計している。
収穫量は、調査対象品目の団体取扱数量（団体把握シェア（おおむね80%）を基準としている。）に応じて、関係団体調査結果又は標本経営体調査結果により算出した10a当たり収量を必要に応じて巡回・情報収集結果により補完し、10a当たり収量を決定し、作付面積に乗じて算出している。

7 目標精度

本調査においては、目標精度を設定していない。

8 用語の解説

- (1) 作付面積とは、は種又は植付けし、発芽又は定着した面積をいう。
- (2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用、加工用（でん粉用、加工食品用等）として流通する基準を満たすものの重量をいい、出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費、生産物を贈与した量、収穫後の減耗等を差し引いた重量をいう。
なお、野菜需給均衡総合推進対策事業による産地廃棄や都道府県等が独自に実施した需給調整事業により産地廃棄された量は、収穫量に含めるが出荷量には含めていない。
- (3) 統計表の「（参考）平均収量対比」は、直近7か年までの10a当たり収量のうち、最高、最低を除いた分の10a当たり平均収量と当年産の10a当たり収量との対比を行っているが、直近7か年のうち3か年及び4か年分の場合は、平均値と当年産を対比している。

9 統計表の見方等

- (1) 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しないことがある。

原 数	7けた以上 (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1000)	3けた以下 (100)	
四捨五入するけた数（下から）	3けた	2けた		1けた	四捨五入しない	
例	四捨五入する前（原数）	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した後（統計数値）	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

- (2) 統計表中に使用した記号は次のとおりである。

「...」：事実不詳又は調査を欠くもの

10 その他

この資料の数値は概数であり、確定値は追って刊行する『平成21年産野菜生産出荷統計』に掲載する。

【ホームページ掲載案内】

各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報でご覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類は「野菜」に分類しています。

【関連リンク】

野菜関係ページ：農林水産省 > 生産
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/>



問い合わせ先

本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 園芸統計班

電話：03(6744)2044

農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画課 広報普及班

電話：03(6744)2037



農林業センサス

平成22年2月1日現在で、2010年世界農林業センサスを実施しています。

調査員がお伺いしましたら、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページURL：<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/>